

株式会社テクノプロジェクト様

運用設計導入コース (第1回)

運用フレームワークの考え方

事前アンケート フィードバック

運用設計ラーニング

2022-11-30

運用方針の把握

コミュニケーションによる把握

- ・ 強いて言えば年1回の部の活動報告会
- ・ プロジェクト全体会議、部会、ミーティング
- ・ リーダーに確認。口頭で共有。OJTでの口伝。

ドキュメントによる把握

- ・ プロジェクト計画書、運用業務方針
- ・ 規約

総評

- ・ 概ね「**ヒューマンコミュニケーションによる方針把握**」と答える方が多かった。
- ・ **常設のドキュメントによる把握**と回答した方は少数に留まった。
- ・ 全体方針について曖昧な部分が多いという回答が数件あった。

運用方針について、関係者ならば**随時確認できる状態を整備**することが望ましいです。

運用フレームワークに対する期待 (1)

運用組織

- ・ 円滑な運用を実現できるようになりたい。
- ・ 運用業務の全体方針をどのように共有すべきか知りたい。
- ・ モチベーションを上げて、高い意識で運用できる組織になりたい。
- ・ 漏れのない運用を行うにはどうすればよいかを知りたい。

運用設計

- ・ 運用の基本的な考え方を学び、最適と思われるやり方を実現したい。
- ・ 運用設計のポイントやドキュメントへのまとめ方を知りたい。
- ・ 運用の良し悪しを判断する基準を自分の中に作りたい。

運用改善

- ・ 運用業務を改善・効率化するための考え方や方法を知りたい。

運用フレームワークに対する期待 (2)

開発

- ・ 円滑な運用をするためのアプリ開発、効果的なアプリ改修につながる運用プロセスを知りたい。
- ・ システムを開発する際に、運用保守しやすいものを作るにはどういう考慮が必要なのかを理解したい。

その他

- ・ パブリッククラウドの運用で必要なことを知りたい。
- ・ 実体験を踏まえたリアルな解決策・改善策を学びたい。

ご回答ありがとうございます。
いただいた内容は講義の中で触れていくようにいたします。

一般質問

回答表(Excelファイル)をご参照ください。

更に質問がある場合は、事後アンケートや次回の事前アンケートへの投稿をお願いします。